

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 08-02-02	事務事業名 地球温暖化対策助成金の運用	所管部課 みどり環境部 環境保全課
-------------------	------------------------	-------------------------

施策コード 環2-4	施策名 地球温暖化対策の推進	施策目標 地球温暖化防止のため、省資源・省エネルギーを進めるとともに、再生可能エネルギーの導入・活用をめざします。
---------------	-------------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的	地球温暖化の原因となる温室効果ガスの削減対策として、一般家庭における省エネ等の取組みを支援する。また、環境省が中小企業の事業者向けに策定したエコアクション21の認証を取得した者に対し、その取得に必要な経費の一部を助成することにより、環境に配慮した経営の促進を図り、もって市民の生活環境の向上に資することを目的とする。	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する	「西東京市住宅用太陽光発電システム等設置助成金交付要綱」に基づき、太陽光発電システム(予定数15件、1,200,000円)、高効率給湯器等の住宅用新エネルギー・省エネルギー機器等(予定数46件、1,600,000円)の設置に対する助成を行う。また、「西東京市エコアクション21認証取得費助成金交付要綱」に基づき、エコアクション21の認証取得をした者に、その費用の一部を助成する。(予定数10件、800,000円) (予算：4.1.4.5地球温暖化対策事業費)	
	事業開始時期	21 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		0	3,228	3,250	4,142
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		0	0	1,050	1,471
地方債	千円	0	0	0	0
その他( )		0	0	0	0
一般財源		0	3,228	2,200	2,671
所要人員(B)	人	0	0.2	0.2	0.2
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	1,616	1,616	1,633
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	0	4,844	4,866	5,775
単位当たりコスト(E)=(D)/(太陽光等募集件数)	千円	0	72	81	81

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
① 太陽光等募集件数	実績値 件		67	60	71
②	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 住宅用太陽光発電システム、高効率給湯器設置助成募集件数及びエコアクション21認証取得費助成予定件数。					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一 太陽光等応募件数	目標値 件				250
	実績値 件		176	233	
二 太陽光等助成件数	目標値 件				60
	実績値 件		61	60	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 住宅用太陽光発電システム、高効率給湯器設置助成件数及びエコアクション21認証取得費助成件数。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	市民からは、助成金額が減っても助成件数を増やして欲しいという意見が多く寄せられている。このため、平成23年度は1件あたりの助成額を減額し、助成予定件数を増やしている。
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 下 太陽光発電システム設置助成制度は、多摩26市中18市で実施しており、その平均予算額は約824万円である。西東京市の予算額は120万円であり、18市中最低となっている。近隣市の状況は、東村山市が1000万円、小平市が600万円、清瀬市が400万円となっている。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 代替・類似サービスはない。

事業コード 08-02-02	事務事業名 地球温暖化対策助成金の運用	所管部課 みどり環境部 環境保全課
-------------------	---------------------	-------------------------

施策コード 環2-4	施策名 地球温暖化対策の推進	施策目標 地球温暖化防止のため、省資源・省エネルギーを進めるとともに、再生可能エネルギーの導入・活用をめざします。
---------------	-------------------	--

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<p>住宅用太陽光発電システム等設置費用助成金制度は、環境負荷が少ないエネルギー利用の促進を図るためには有益である。平成22年度は、助成枠に対し太陽光で約8倍、高効率給湯器で約3倍の応募があり、この事業に対する市民の関心は高いと思われる。</p> <p>今後、助成件数を増やせるかが課題となる。また、助成対象機器に太陽熱温水器を加えること、対象物件に集合住宅を加えることも検討する必要がある。</p> <p>事業者に対するエコアクション21認証・登録費用の一部助成制度については、市内事業者がエコアクション21を導入することで各種環境データの見える化につながる。効果として光熱水費等の経費削減が図られ、結果として事業者から排出される温室効果ガス削減に寄与することが期待されるため、有用であると考えている。</p>
	事業の必要性	2	
	事業主体の妥当性	3	
B	直接のサービスの相手方	3	
	事業内容等の適切さ	2	
	受益者負担の適切さ	2	
C	市民ニーズの把握	3	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<p>地球温暖化防止対策の一環として実施している住宅用太陽光発電システム等設置助成金制度については、市民の関心が高く助成枠を大きく上回る応募があり、昨今のエネルギー事情からも今後益々応募が増える可能性がある。太陽光発電システムや高効率給湯器等の設置や、事業者のエコアクション21認証・登録については、結果として温室効果ガスの削減に寄与することが期待されることから、機器等の導入を促進する為の同制度の継続実施については当面必要と考えられる。なお、制度の拡充については、国や東京都の同種の補助制度の動向を踏まえ検討されたい。</p>
	事業の必要性	2	
	事業主体の妥当性	3	
B	直接のサービスの相手方	3	
	事業内容等の適切さ	2	
	受益者負担の適切さ	2	
C	市民ニーズの把握	2	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>本事業は、実施目的としては必要性・重要性が高いと言えるが、現在の助成金交付が、対象設備購入後の申請に対し、抽選を経て交付決定していることを考えると、市の助成制度が真に市民の行動喚起に寄与しているかどうかについては大いに疑問がある。また、支援対象機器ごとの助成額配分についても、人気の高低だけでなく、導入した場合の省エネ・節電効果の大小を勘案して決定すべきと考えられる。以上の点を踏まえるとともに、国・都の動向を注視しながら、費用対効果の高い設備に重点を置き、真に市民の動機付けにつながるような助成制度となるよう抜本的に見直されたい。</p>